



# シスコ脆弱性データベース（VDB）アップデート 335 リリースノート

---

- [Cisco Vulnerability Database について](#) (2 ページ)
- [Cisco Firepower Application Detector リファレンスについて](#) (3 ページ)
- [サポートされるプラットフォームとソフトウェアバージョン](#) (4 ページ)
- [サポートされるディテクタ タイプ](#) (5 ページ)
- [脆弱性データベースアップデート 335 でサポートされるアプリケーションの合計数](#) (6 ページ)
- [脆弱性データベースアップデート 335 の変更ログ](#) (7 ページ)
- [支援が必要な場合](#) (11 ページ)
- [Talos について](#) (12 ページ)

## Cisco Vulnerability Database について

シスコ脆弱性データベース (VDB) は、オペレーティング システム、クライアント、およびアプリケーションのフィンガープリントだけでなく、ホストが影響を受ける可能性がある既知の脆弱性のデータベースです。システムでは、VDB を使用して、特定のホストで感染のリスクが高まるかどうかを判断します。

シスコでは、VDB に対して定期的に更新を提供しています。Firepower Management Center で VDB と関連付けられたマッピングの更新にかかる時間は、ネットワーク マップ内のホストの数によって異なります。一般的に、更新の実行にかかるおおよその時間 (分) を判断するには、ホストの数を 1000 で割ります。

VDB の更新は、Cisco.com の [VDB ソフトウェアのダウンロードページ](#) で確認することができます。

# Cisco Firepower Application Detector リファレンスについて

『Cisco Firepower Application Detector リファレンス』には、リリースノートと、VDB リリースでサポートされているアプリケーションディテクタに関する情報が含まれています。本リファレンスに記載されている各アプリケーションについては、次の情報を確認できます。

- 説明：アプリケーションの簡単な説明。
- カテゴリ：アプリケーションの最も重要な機能を説明する一般分類。カテゴリの例としては、「Web サービスプロバイダ」、「e-コマース」、「広告ポータル」、および「ソーシャルネットワーキング」などがあります。
- タグ：アプリケーションに関する追加情報を表示する事前定義のタグ。タグの例としては、「Web メール」、「SSL プロトコル」、「ファイルの共有/転送」、および「広告の表示」などがあります。アプリケーションには、0 個、1 個、または複数のタグが割り当てられています。
- リスク：アプリケーションが組織のセキュリティポリシーに違反しうる目的で使用される可能性。リスクのレベルは次のとおりです。「非常に高い」、「高」、「中」、「低」、および「非常に低い」。
- ビジネスとの関連性：アプリケーションが、娯楽目的ではなく組織の事業運営の範囲で使用される可能性。関連性のレベルは次のとおりです。「非常に高い」、「高」、「中」、「低」、および「非常に低い」。

# サポートされるプラットフォームとソフトウェアバージョン

このガイドは、次のプラットフォームのソフトウェアバージョンでインストールされる脆弱性データベース アップデートに関するガイドです。

## Sourcefire 3D システム/Firepower システム バージョン 5.x :

- Cisco FireSIGHT Management Centers (旧 Defense Centers)

## Firepower バージョン 6.x :

- Cisco Firepower Management Centers (旧 Defense Centers/FireSIGHT Management Centers)

## サポートされるディテクタ タイプ

サポートされているディテクタ タイプは次のとおりです。

- アプリケーション プロトコル
- クライアント
- Web アプリケーション

# 脆弱性データベースアップデート 335 でサポートされるアプリケーションの合計数

シスコ脆弱性データベース (VDB) アップデート 335 では、3,650 種類のアプリケーションをサポートしています。

## 脆弱性データベースアップデート 335 の変更ログ

このセクションでは、VDB 334 (2020年5月15日 16:04:03 UTC) から VDB 335 (2020年5月29日 18:08:09 UTC) への変更について説明します。

### アプリケーション プロトコル ディテクタ

合計追加数 :	0
合計削除数 :	0
合計更新数	0

### クライアント ディテクタ

合計追加数 :	0
合計削除数 :	0
合計更新数	4

### Web アプリケーション ディテクタ

合計追加数 :	0
合計削除数 :	0
合計更新数	51

### FireSIGHT/Firepower ディテクタの更新

合計追加数 :	0
合計削除数 :	0
合計更新数	0

### オペレーティング システム フィンガープリントの詳細

合計追加数 :	0
合計削除数 :	0
合計更新数	0

### オペレーティング システムおよびハードウェア フィンガープリントの詳細

合計追加数 :	0
合計削除数 :	0

合計更新数	0
-------	---

**脆弱性の参照**

合計追加数 :	0
合計削除数 :	0
合計更新数	0

**フィンガープリントの参照**

合計追加数 :	0
合計削除数 :	0
合計更新数	0

**ファイルタイプディテクタ**

合計追加数 :	0
合計削除数 :	0
合計更新数	0

**オペレーティング システム フィンガープリントの詳細 :**

- 追加または変更なし

**オペレーティング システムおよびハードウェア フィンガープリントの詳細 :**

- 追加または変更なし

**フィンガープリント参照の詳細 :**

- 追加または変更なし

**アプリケーション プロトコル ディテクタ :**

- 追加または変更なし

**クライアント ディテクタ :**

- [Hotspot Shield](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Snapchat](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Twiterrific](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Burnbook](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)

**Web アプリケーション ディテクタ :**



- [GitHub](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [NBC](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [NHL.com](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Allstate](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [任天堂](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Elephant Drive](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Showbox](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Mikogo](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Writeboard](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [BigUpload](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Livemocha](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Mininova](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [126.com](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Netease](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [USA Today](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Babylon](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [eHow](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Fox News](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [MGID](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [LiveStrong.com](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [WhereCoolThingsHappen](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Widget Media](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Fab.com](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Space.com](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Zmags](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [E! online](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Simpli.fi](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [OpenSUSE](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Djpod](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)

- [Zombo.com](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Detroit Free Press](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Michigan Radio](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Komli Media](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [SLI Systems](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Adtech](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Mobile Theory](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Ybrant Digital](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Resonate Networks](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Telecom Express](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [スタンフォード大学](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [eRecht24](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [DeNA Web サイト](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Siteimprove](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [LOVEFiLM](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Orbitz](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [The Gap](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Travelocity](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Voyages-sncf.com](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Cyworld](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Issuu](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)
- [Searchnu](#) : 誤検出を修正するためにディテクタを変更 (更新)

**FireSIGHT/Firepower ディテクタの更新 :**

- 追加または変更なし

**ファイルタイプ ディテクタの詳細 :**

- 追加または変更なし

**Snort ID の脆弱性の参照の詳細 :**

- 追加または変更なし

## 支援が必要な場合

Cisco Firepower デバイスに関するマニュアルの入手、Cisco Bug Search Tool (BST) の使用、サービスリクエストの送信、追加情報の収集の詳細については、『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』を参照してください。

『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』は、シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示し、RSS フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用してコンテンツをデスクトップに配信することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。Cisco ASA デバイスに関してご質問がある場合や支援が必要な場合は、以下のシスコ サポートに連絡してください。

- 注：TAC リクエストを開くには、Cisco.com ユーザ ID を最初に登録する必要があります。
- Cisco.com ユーザ ID を作成したら、サービス要求のステータス [オンライン](#) を開始またはチェックするか、電話で TAC に問い合わせることができます。
  - 米国：1-800-553-2447 無料通話
  - [国際サポート番号](#)
- TAC からテクニカルサポートを受ける方法の詳細については、『[Technical Support Reference Guide](#)』（PDF、1 MB）を参照してください。

## Talos について

Talos Security Intelligence and Research Group (Talos) は、洗練されたシステムによってサポートされる優れた脅威研究者によって構成され、既知の脅威と新たな脅威の両方を検出および分析し、その脅威から保護するためのシスコ製品の脅威インテリジェンスを作成しています。Talos は、[Snort.org](http://Snort.org)、[ClamAV](http://ClamAV)、[SenderBase.org](http://SenderBase.org)、および [SpamCop](http://SpamCop) の公式ルールセットも保守しています。このチームの専門知識には、ソフトウェア開発、リバースエンジニアリング、脆弱性トリアージ、マルウェア調査、および情報収集が含まれています。